

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの市議会だより

市議会だより 第98号

平成元年 4月30日

発行日 野市議会

住所 日野市神明1丁目12番地の1
電話 (0425) 85-1111
内線 601 ~ 604

第1回定例会

平成元年度予算決まる

一般会計予算額

356億5千456万円余(対前年度比12.9%増)

平成元年第1回定例会は、3月6日から3月30日までの25日間にわた
り開かれ、市長提出議案37件、議員提出議案3件を可決し、請願・陳情
5件も採択されました。今定例会の冒頭、市長から「平成元年度予算編

成方針と事業」と題して、市政の基本姿勢が示されました。
市長からの平成元年度予算議案の提出に伴い、議会では、予算特別委
員会を設置、審議され委員会、本会議とも原案を可決しました。

本会議の経過

平成元年第1回定例会は3
月6日に開会されました。
初日の6日、会期を22日間
と決定しましたが、最終日の
27日以降それぞれ1日ずつ会
期を延長し、あわせて25日間
開かれ、3月30日閉会されま
した。
本会議の冒頭、市長から平
成元年度に向けて、予算編成

方針と事業が示され、これに
対し、8名の議員から次のよ
うな質問がなされました。
1 下水道事業への取り組み。
2 市政展開に向けての組織機
構強化の取り組み。
3 市内産業振興と活力あるま
ちづくりの対応。
4 消費税に対する市長の考え
方。
5 市長選挙を目前にした、予
算編成への配慮。
6 都市基盤整備促進の対応。
続いて、市長から行政報告
が行われ、4名の議員から質
疑が行われました。主な質疑
は次のとおりです。
1 緑地信託の事業条例が議会
可決前に条例案を広報に掲
載した理由。
2 東京都の派遣職員を市採用
職員とした経過と理由。
7日、閉会中の委員会審査
報告が行われました。続いて
議案上程、請願・陳情上程が
行われそれぞれの常任委員会
に付託されました。(結果は6
頁に掲載)
8日、13日、一般質問が行
われ、17名の議員から22件の
質問がなされました。(質問議
案と内容は4、5頁に掲載)
13日には、追加議案、請願・
陳情が上程されました。結果
は6頁に掲載)
14日、16日、常任委員会、
特別委員会を開催。
17日、30日、予算特別委員
会開催(内容は2頁に掲載)
29日には市長から議案9号、
20号の訂正が提出され本会議
の承認を得た後、厚生委員会
予算特別委員会が開催され、
この訂正を含めた委員会の結
論がなされました。29日、30
日には本会議が開かれ、付託
先の各委員長から審査報告が
あり、議案37件、請願・陳情
5件が可決、採択されました。
また、議員提出議案3件も可
決され、今定例会の日程を全
部終了し閉会しました。



清流浅川にあそぶ子ども達

選任同意、選出

今定例会で、次の方々が選任
同意、選出されました。

固定資産評価審査委員会委員に同意
山内 滋 日野市多摩平 三丁目18の3
人権擁護委員に同意
平 清太郎 日野市大字新井863の64
山下 羊平 日野市日野台 二丁目22の2
川口 恵美 日野市南平 一丁目1の6
南多摩農業共済事務組合議会議員に選出
一ノ瀬 隆 日野市多摩平 五丁目12の9
谷 長一 日野市大字日野 五九八七

永年勤続議員表彰

東京都市議会議長会から、永年市政の発
展に尽くされたとして、次の方々が表彰さ
れました。

一ノ瀬 隆(15年) 福島 敏雄(7年)
黒川 重憲(15年) 小俣 昭光(7年)
石坂 勝雄(15年) 馬場 繁夫(7年)
竹ノ上 武俊(15年) 夏井 明男(7年)
馬場 弘融(7年) 高橋 徳次(7年)
旗野 行雄(7年) 古賀 俊昭(7年)

主な議案と内容

一般会計予算

【予算の特徴と主な事業】 予算額の近年の動向としては、61、62年度マイナス1.3%、62
年度1.1%の増、63、平成元年度12.9%の増、という大きな変動を示しています。
【主な事業】 (仮称)高幡特養ホーム工事(9億7千500万円)、(仮称)二番橋
工事(6億8千92万円)、五小改築(5億4千231万円)、(仮称)百草図書館工事負担金
(9千785万円)、老人入院共済事業会計へ繰出し(2千632万円) 他
【予算案説明書の訂正】 既に議会に提案されていた本件に、3月20日、市長から予備費
を1千580万円減額し、この分を老人福祉費のうち、健康管理手当を1万2千円→1万4千
円と増額とする内容の申し出があり、議会はこれを承認しました。

お年寄りの入院に見舞金…共済制度で…

【条例の名称】 日野市老人入院見舞共済条例
【条例の内容】 70歳以上の方が7日以上入院した時、その日数に応じて見舞金を支給
【見舞金の額】 7日～20日 5千円、21日～40日 1万円、41日～60日 1万5千円
【日数は入院
の日数です】 61日～80日 2万円、81日～110日 3万円、111日～150日 4万円
151日以上 5万円
【関 連】 平成元年度から、健康管理手当が4千円増額改定されますが、このうち
の2千円を、共済会費とする仕組みです。

消費税の導入に関する意見書(要旨)

消費税を導入するにあたっては、いくつかの懸念(税金の逆進性、不公平感の拡大、非
課税世帯の重負担、税率の引き上げ、納税コストの増加、物価の上昇、消費税の価格への
転嫁)がありますが、最近では地方財源の減少に加え、免税点や簡易課税による事業者へ
の課税の不徹底など懸念は増えるばかりで現在この懸念は一向に解消されておりません。
よって、次の事項を強く要望いたします。①消費税の4月実施は延期し、不公平税制の
改革を進め消費税は撤回すること。②自治体の公共料金へは消費税の転嫁を行わないこと。
上記、意見書を提出する。 平成元年3月30日 日野市議会

平成元年度の予算審査から

一般会計予算

平成元年度一般会計予算特別委員会は、3月17日、20日、22日、29日の4日間にわたり開催され、慎重な審査が行われました。

この特別委員会は、委員15名により構成され、予算の説明員には市長、収入役、教育長、担当部・課長が出席し行われました。

審査に入る前に、委員長、夏井明男議員、副委員長、土井尚功議員を選出し、予算の審査に入りました。審査は、歳入全般から始まり、次に歳出の議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農業費、商工費、土木費、消防費、諸支出金、予備費の順に、事業計画と予算額に質疑、指摘、行政への提言が行われました。質疑や指摘の内容は、①予算編成の方針と考え方、②予算執行にあたっての具体的な方策、③健全財政への行政運営など、市民の負担に配慮するための積極的な質疑と指摘が行われました。今回の予算委員会での特徴は、4月1日に導入される消費税への対応でした。終りに委員会の結論として平成元年度予算は、原案のとおり可決すべきものと、一般会計予算特別委員会を閉会しました。

特別会計予算

平成元年度特別会計予算特別委員会は、3月23日、29日の2日間にわたり開催され、慎重な審査が行われました。この特別委員会は、委員14名で構成され、委員長、天野輝男議員、副委員長、中谷好幸議員を選出し進められました。審査は、以下のとおり会計別に順次行われ、委員会では、各会計とも原案を可決すべきものとの結論をだしました。

国民健康保険特別会計予算額

42億9千948万5千円

(前年対比3・6%増)

土地区画整理事業特別会計予算額

45億4千839万9千円

(前年対比26・2%増)

下水道事業特別会計予算額

52億8千409万8千円

(前年対比17・8%増)

市立総合病院事業会計予算額

28億5千594万3千円

(前年対比11・1%増)

受託水道事業特別会計予算額

16億4千569万3千円

(前年対比0・4%増)

老人保健特別会計予算額

40億5千385万7千円

(前年対比1・7%増)

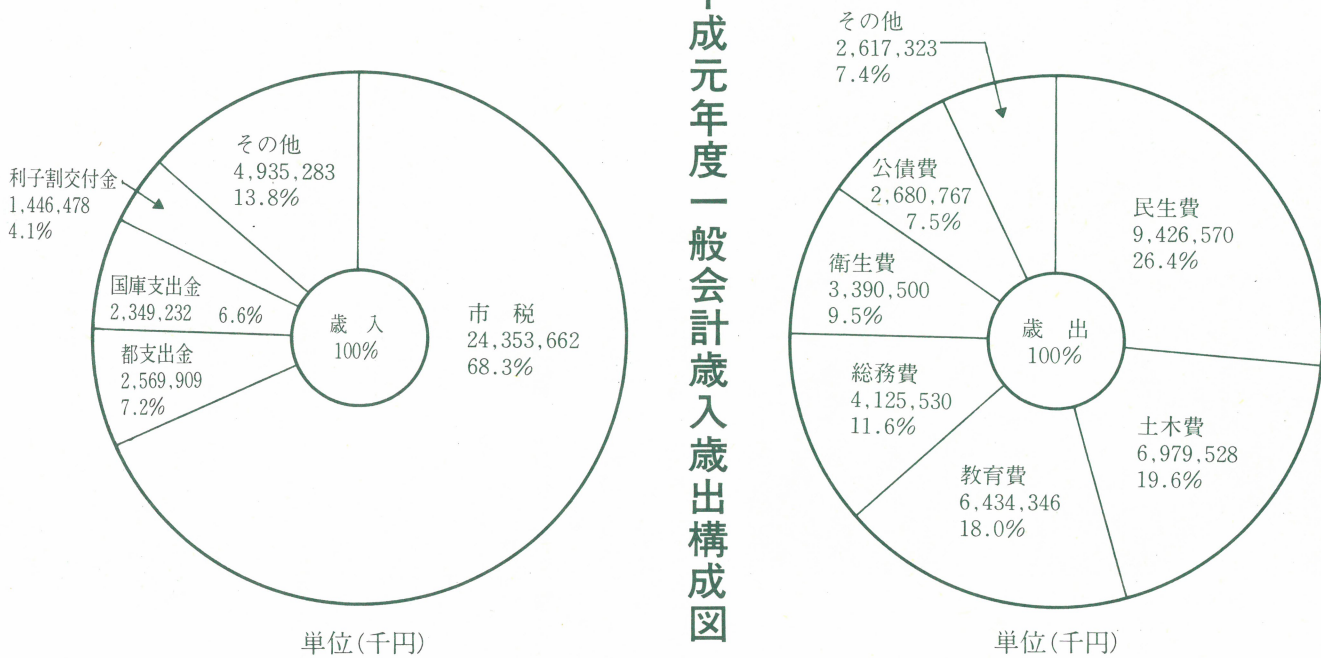
老人入院共済事業特別会計予算額

4千153万円

(本年度新設会計)

予算総額356億5,456万4,000円

平成元年度一般会計歳入歳出構成図



一般会計予算

各会派の総括意見(要旨)

発言順

自由市民会議

(原案賛成)

自由市民会議を代表して、平成元年度一般会計予算を最も積極的に認める立場から、意見を申し上げます。

この予算案は、市長が引き続き市政を担当するような姿勢に伴い、地方税改正に関連して法人市民税、たばこ消費税、電気税、ガス税が減収になり消費増税の補てんを差引いても、2億5千581万円減収で歳出の市負担消費税をあわせると、7億9千299万円にのぼります。また、国庫補助金は一律カットも市財源の大きな圧迫になり、消費税廃止と国庫補助率の還元を国や都に強く求める必要があります。

①歳入では、幼稚園費に係る都補助金に、当然に把握されるべきものの、計り、今後、検討・改善を求めたい。

②歳出では、議長のあつせんにより、予算の訂正というものがあつたわけだが、この正予算が少なくとも編成に留意されたい。更なる努力を希望し意見の結びとします。

共産党

(原案賛成)

日本共産党市議団を代表して、一九八九年一般会計予算原案に賛成の立場で意見を述べます。

歳入面では、消費税導入に伴い、一八八九年一般会計予算原案に賛成の立場で意見を述べます。

歳入面では、消費税導入に伴い、一八八九年一般会計予算原案に賛成の立場で意見を述べます。

公明党

(原案賛成)

公明党を代表して、平成元年度一般会計予算案に賛成の立場で意見を述べます。

先の臨時国会で、消費税の導入が決まったが、公明党は、一貫して反対してきました。世論調査では、75%が反対と答えている。このなかで、日野市が消費税対策本部を設置したのは、歓迎されることであり、弱者等への対応を十分とるよう要望するものです。

法人市民税の割合が高い当市では、特に効果的運営の行なわれて、市税収入が大幅に伸び、前年対比で12・9%の増加となっています。

市民クラブ

(原案賛成)

市民クラブを代表して、平成元年度一般会計予算案に賛成の立場で意見を述べます。

このような財政の好転により、基本計画の着実な実践とレベルアップ事業が計画されていることは歓迎すべきことです。しかし、消費税導入を柱とする税制改革関連六法が、①都市基盤整備の促進、②青年の健全育成と社会教育の充実、③高齢者施策の充実、④勤労者施策の充実と産業振興、⑤市民サービスの質的な向上、特に第2、第4土曜日の開庁に関連、以上の要望を現に向けて努力されることを望みます。

社会クラブ

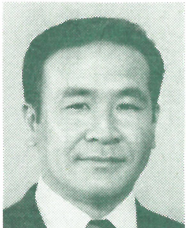
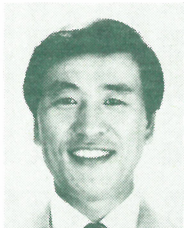
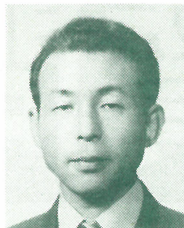
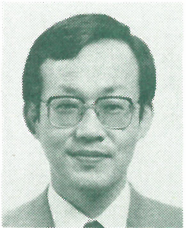
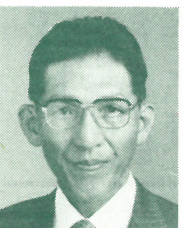
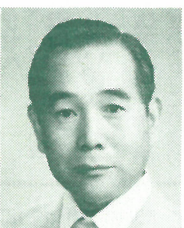
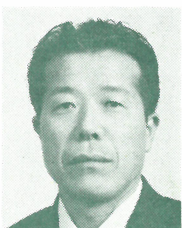
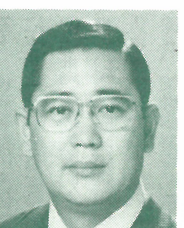
(原案賛成)

社会クラブを代表して、平成元年度一般会計予算案に賛成の立場で意見を述べます。

原案賛成の立場で、社会クラブの意見を申し上げます。

平成元年度一般会計予算は、対前年度比12・9%の大幅増ですが、これは、市民所得の大幅な伸びと、市内企業

議員の委員会の所属決まる(議席順)

	 ④土方 尚功 (自由市民会議) 厚生副委員長 市立病院等対策 特別委員 議会運営委員	 ③高橋 徹 (自由市民会議) 建設委員 スポーツ・公園対策 特別副委員長	 ②宮沢 清子 (公明党) 厚生委員 市立病院等対策 特別副委員長	 ①奥住 日出男 (市民クラブ) 総務委員 市立病院等対策 特別委員長 議会運営委員
 ⑩小俣 昭光 (日本共産党) 建設副委員長 下水道対策特別委員	 ⑨中谷 好幸 (日本共産党) 厚生委員 スポーツ・公園対策 特別委員長 議会運営委員	 ⑧福島 敏雄 (社会クラブ) 厚生委員 市立病院等対策 特別委員 議会運営副委員長	 ⑦福島 盛之助 (自由市民会議) 文教委員 交通対策特別副委員長	 ⑥天野 輝男 (自由市民会議) 総務副委員長 下水道対策特別委員 議会運営委員
 ⑮馬場 弘融 (自由市民会議) 厚生委員 市立病院等対策 特別委員	 ⑭小山 良悟 (自由市民会議) 建設委員 スポーツ・公園対策 特別委員 議会運営委員長	 ⑬夏井 明男 (公明党) 総務委員長 スポーツ・公園対策 特別委員	 ⑫馬場 繁夫 (公明党) 文教副委員長 下水道対策特別委員長 議会運営委員	 ⑪川嶋 博 (市民クラブ) 建設委員長 下水道対策特別委員
 ⑳鈴木 美奈子 (日本共産党) 文教委員 スポーツ・公園対策 特別委員	 ⑲板垣 正男 (日本共産党) 総務委員 交通対策特別委員長	 ⑱一ノ瀬 隆 (社会クラブ) 副議長 総務委員	 ⑰旗野 行雄 (自由市民会議) 総務委員 交通対策特別委員	 ⑯高橋 徳次 (自由市民会議) 文教委員長 交通対策特別委員
 ㉔谷 長一 (自由市民会議) 厚生委員 下水道対策特別 副委員長	 ㉔古賀 俊昭 (自由市民会議) 文教委員 下水道対策特別委員	 ㉔黒川 重憲 (公明党) 建設委員 交通対策特別委員	 ㉔秦 正一 (公明党) 総務委員 下水道対策特別委員	 ㉔中山 基昭 (市民クラブ) 文教委員 交通対策特別委員
 ㉔米沢 照男 (日本共産党) 厚生委員長 市立病院等対策 特別委員 議会運営委員	 ㉔竹ノ上 武俊 (日本共産党) 文教委員 交通対策特別委員	 ㉔名古屋 史郎 (社会クラブ) 建設委員 スポーツ・公園対策 特別委員	 ㉔石坂 勝雄 (自由市民会議) 建設委員 市立病院等対策 特別委員	 ㉔市川 資信 (自由市民会議) 議 長 総務委員

一般質問要旨

各定例会では、市政全般について一般質問が行われますが、今回は17名の議員から22件の質問がありました。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

多摩平団地の建て替えに
関して市長の見解を問
う。ひとりも泣く人を
出さないために

る方針を確立しています。
多摩平地域については、平
成元年度に計画していくとい
う情報はとらえています。現
段階では、公団からの正式
な話は何もありません。

今までも常に公団側へは、
情報は速やかにいただきた
と申し入れております。

問、住宅・都市整備公団は、
都市開発、採算性、合理性を
繰り返し強調し、昭和30年代
に建てた全国の公団住宅を建
て替えるといっています。

多摩平団地の建て替えにつ
いては、新しい課題といえま
す。今申し上げられることは
なるべく早く情報を知り、早
期に事前の必要な対応を図
らなければならぬということ
です。

時期は、大変重要な問題と思
うが、市の見解を問う。
答、企画財政部長
公団では、昭和30年代に建
てた賃貸住宅17万戸を、年1
万戸のペースで建て替えるす
ております。

住民生活を基本的に守るこ
とは、自治体の当然の務めで
あり、積極的に意向を引き出
し、市の立場を伝えたいと考
えております。

板垣 正男

(日本共産党)

高速道路騒音問題に対す
るその後の対応について

高速道路のジョイント部分
から発生する騒音は、日夜
付近住民に大きな騒音公害が
出ている。
住民の方々も道路公団と話
し合い、騒音解消の要望を行
って来ましたが、

日野市は、安全で住み良い
環境づくりを基本構想にあげ
ています。そこで、次の質問
を行います。

問1、道路公団に騒音解消の
ためにどのような要請を行っ
たか問う。

問2、住み良い環境づくりの
ために、地域の公害解消につ
いて、市長の考え方を問う。
答、生活環境部長

答1、昨年4月、高速道路の
騒音調査を行いました。
この調査に基づき、道路公
団に対して、騒音対策の申し
入れを行いました。この申し
入れにより道路公団では、騒
音対策として、騒音の防音壁
の設置、ジョイントなどのボ
ルト締めを行いました。しか
しながら、現在もジョイント
部分から騒音が出ておりま
す。道路公団も住民の方々の
意見を十分理解できるとし
て、今後、積極的な騒音解消
に向け努力するとの回答を得
ております。

答2、各地域に、公害的なも
のとして、市民生活を阻害す
るものが発生しております。
市民生活を守るうえで、こ
れらの発生を積極的に根本
解消に向け努力してまいりた
いと考えています。

今後、公害的な発生には、
迅速に対応してまいります。

米沢 照男

(日本共産党)

南平地域のまちづくりに
ついて

革新日野市政における、南
平地域のまちづくりは、南平
小の用地取得からスタートし
たといっても過言ではない。
以下、当面する課題、4点
について取り上げたい。

問1、63年度に実施した、南
平整備計画策定調査により、
この地区の整備の基本方針、
実施方針、今後の課題が明ら
かにされる見込みとされてい
る。今後、住民の意向を、ど
う反映させていくのか。

問2、多摩動物公園の南平口
開設に向け、道路整備のため
の前段階的な作業をしている
が、もう少し早いテンポで取
り組めないものか。

答、企画財政部長
答4、住民の立場に立つて、
東電へ申し入れていきます。

古賀 俊昭

(自由市民会議)

なぜ、今職員数を増やす
必要があるのか

問1、職員組合が要望してい
る増員数の内容を問う。
問2、定数増について組合と
合意したと聞かされたが、ま
た、その内容を問う。

問3、現行の定数の枠内で見
直しを行う考えがあるか。
問4、人口段階別標準団体系
員モデルの資料は整っている
か問う。

答、総務部長
答1、職員増の要望数は16名
です。各所属長に聞き取り調
査を行い、整理中です。
答2、増員については、組合
の要求を一方的にむこうとな
く関係部課長から事情聴取し
必要な人員増をお願いした
り取り組んできました。

問1、日本国憲法第一条を市
長は16年間どのように市政の
中に反映されてきたか問う。
問2、教育委員の選挙権につ
いて、どのように取り組ん
できたか問う。
答、市長
答1、天皇は日本国の象徴と
いうことで理解しています。
答2、選挙権は市民運動とど
もに成り立つもので、市民み
んなが参加できる仕組みをつ
くることが望ましいと考えて
取り組んできました。



さきほこる藤 (新坂下の公園)

福島 敏雄

(社会クラブ)

下水道推進、交通渋滞解
消、バス路線充実のため
に、都市計画道路の建設
に全力を尽せ

問1、進行中の10・2kmの都
市計画道路の完成時点の市・
都・国の計画達成率を問う。
問2、1・3・1号線の区画
整理地外は、下水道、交通渋
滞対策から見て早期に着手す
べきではないのか問う。

問3、都市計画道路の施行区
分、財政面の調整を都、国と
図るべきではないか問う。
問4、用地の先行取得制度の
拡充が必要であると思うが現
行制度で十分か問う。

問5、2・2・11号線の中央
線以西について、代替地の確
保及び沿道の区画整理の研究
が必要と思うが決意を問う。
問6、交通渋滞解消のために
1・3・1号線の期待は大き
い。市側の見通しを問う。
答、都市整備部長
答1、市施行分が約83%、都
施行分が約45%、国施行分が
約33%で、ここが完成すると
達成率が約52%になります。
答2、平成7年までに、1・
3・2号線と万願寺の1・3
・1号線をつなぐ予定です。
答3、事業化を行うときに協
議をしていきます。
答4、現在積極的に、公社を
活用して用地の先行取得をし
ています。用地買収部門の強
化が必要と考えています。
答5、権利者が円滑に他の地
に生活再建できるよう市保有
の用地転賃や先買いを進めら
れ、沿道の区画整理事業の導
入を検討したいと思えます。
答6、架橋事業早期着工のた
め国立市に要請をすると共に
区画整理事業を推進します。

旗野 行雄

(自由市民会議)

南平駅周辺の諸問題につ
いて

問1、駅周辺整備計画につ
いて問う。
問2、ダイクマ開店後の状況
について問う。
問3、七生土地改良区につ
いて問う。
問4、松風地区の公園整備に
ついて問う。
問5、駅北側のかすみ堤部分
の改良問題をどう考えるか。

答、市長、建設部長
答1、昭和59年度と60年度で
測量を実施し、資料の作成も
行い協議を進めております
が、引き続き関係者と積極的
に協議し、対応して行きたい
と考えています。
答、市長、建設部長
答5、今後検討します。

答2、最近の交通状況は、特
に問題になるような渋滞はあ
りませんが、引き続き現地の
状況を調査していきたいと考
えております。なおお店に伴
う近隣商店への影響は現時点
では商工会等に問い合わせた
ところ特に問題はないと聞い
ております。
答、市長
答3、土地改良の機能という
のは、用水管理を必要として
いる時のことで、現在はほぼ
終結しており、水路それに伴
う用地につきましても市に移
管されれば問題の前進を図っ
ていかれると考えています。
答、市長、建設部長

天野 輝男

(自由市民会議)

日野市長計画の事業は
予算の確保はできている
のか?

問、日野市には大規模な総合
体育館がない。このような施
設をつくるには長期計画のも
とに予算の裏づけが必要であ
る。総合体育館をつくる場所
は仲田留保地以外にないと思
うが、市長の計画はどうか。
また、区画整理を通して、
公共用地の有効利用を考え
よ。

答、市長
日野市の基本計画には、こ
れに伴う財政計画も記してお
り、この計画の裏づけに財政
計画も十分支えられる内容を
持っています。
仲田の留保地については、
日野市に払い下げてもらうよ
う大蔵省にお願いし、当局も
そのように認識しています。
東京都に現在モノレール構
想があり、日野の南北交通の
打開ということで、市として
協力すべきだと考えます。
モノレールコース完成のた
めに相当な用地買収が必要で
あり、そのことから、留保地
といわれる部分も合わせて、
新しい町づくり構想の考えが
出てきました。

東町地区は区画整理手法に
より整備することが適切では
ないかという考えで、国有地
もその中に編入し、羽田ヒュ
ーム管もこの区域に入れ、30
秒という構想が出ています。
その区画整理の操作、換地の
中で、体育館、緑地、高層住
宅を考えています。
そういうことで、体育館構
想は、かなり先になると言わ
ざるを得ませんが、仲田地域
を予定地として目指すことに
変わりはありません。

中谷 好幸

(日本共産党)

第五期革新新市政にのぞむ
こと「住むことが喜びで
あり、誇りであるまち」
をめざして

革新新市政が当面する課題に
ついて次の3点を問う。
問1、本格的な高齢化社会の
当事者は、現在の動き盛りの
年代である。10年、20年先を
展望し、高齢化社会にどう対
応するのか市長の考えを聞き
たい。
問2、市民生活に活力をもた
らすような町づくりを進める
必要があると思うが、町づく
りのイメージについて市長の
見解を聞きたい。
問3、行政のサービスはお金
や、物のサービスだけでなく
やる気と能力をいかに引き出
すが課題だと考えます。

答、市長
答1、高齢化社会への対応は
行政福祉、ボランティア活動
と、福祉事業団が行う事業
在宅ケア等を有機的にネット
ワークさせながらやっていく
ことが自治体の対応であると
考えます。
答2、市民自治の町という市
民意識の上に、緑や清流とい
う環境を十分取り入れ、これ
らのハードとソフトの面を両
立させることが町づくりに臨
むイメージと考えています。
答3、一人一人の心構えとし
て、親切であること、清潔で
あること、仕事に対して能率
的であることなどを日々の職員
に話しております。その職員の
やる気と能力をいかに引き出
すが課題だと考えます。

答、市長
答1、高層住宅への対応は
行政福祉、ボランティア活動
と、福祉事業団が行う事業
在宅ケア等を有機的にネット
ワークさせながらやっていく
ことが自治体の対応であると
考えます。
答2、市民自治の町という市
民意識の上に、緑や清流とい
う環境を十分取り入れ、これ
らのハードとソフトの面を両
立させることが町づくりに臨
むイメージと考えています。
答3、一人一人の心構えとし
て、親切であること、清潔で
あること、仕事に対して能率
的であることなどを日々の職員
に話しております。その職員の
やる気と能力をいかに引き出
すが課題だと考えます。

この時にこそ、新駅にか

常任委員会の審査状況

請願・陳情

総務委員会

採択

◎東京都住宅供給公社住宅の家賃値上げ中止を求める意見書提出の請願

【請願の要旨】 住宅供給公社は、一方的な家賃値上げはせず、居住者と十分話し合いをして、家賃額の設定を行うための意見書提出を関係機関に求めるものです。

【結論】全員一致の採択です。

継続

◎消費税の導入に関する陳情
【請願の要旨】 消費税は、4月1日から導入され、実施されることになった。しかし導入にあたっての懸念、課税の不徹底などで、社会的混乱が起るのではと懸念をもち、その見直しを求める意見書提出を求め、その見直しを求める請願

建設委員会

継続

◎山下公園周辺の市営駐輪場設置反対に関する陳情

◎日野市東平山地区における緑地を守るとともに、私有地の買い上げを求める請願

◎下程久保地区内に於ける京王帝都線路敷下トンネル拡幅工事についての請願



◎宮公園設置を要望する陳情

◎町名の変更および制定については住民の意志を尊重することを要望する陳情

◎南平松風自治会内道路の市移管並びに自治会内官有地の現居住者への名義変更に関する請願

◎「宮」町名存続要望に関する陳情

取り下げ

◎「宮」町名存続要望に関する陳情

文教委員会

採択

◎日野市営グラウンドの充実を求める請願

【請願の要旨】 現在日野市営グラウンドには水道施設もトイレもありません。そこで、市営グラウンドをより快適に利用するために、飲料用水道施設の敷設と簡易トイレの設置を求める請願です。

◎再び万願寺一里塚現状保存を訴える陳情

◎日野市中央公民館の建て替え及び公民館分館的施設設置に関する請願

◎日野市における私立幼稚園の諸問題に関する請願

継続

◎日野市立第二中学校音楽室に机を設置させるべく日野市教育委員会に勧告に関する請願

厚生委員会

採択

◎コミュニティセンター建設に関する請願

【請願の要旨】 栄町二丁目、の神鋼電機跡地は、都営住宅建設が予定されている。この地域には、文化、体育施設がないので、文化的な環境向上のため、これらの中核となる施設を要望する請願です。

◎保健、医療、福祉の拡充に関する陳情

◎沢川広場に便所および水道設備設置並びに広場拡張に関する請願

◎放射能測定器設置の請願

継続

◎日野市立第一小学校区学童クラブ設置に関する請願



◎東町地区公園に関する請願

◎犬の不妊・去勢手術に関する市と市内病院（獣医師）との委託契約の改善と猫に對しての不妊・去勢手術に對する補助に関する請願

会議録のご案内

市議会（本会議）で議論されたことは、全部記録され、会議録にまとめられます。
第一回定例会の会議録は、6月初旬ごろにできる見込みです。
お近くの図書館で、ご覧いただけます。



今定例会で議決した議案

市長提出議案

- 承認……承
可決……可
同意……同
- 1、日野市職員の休日の特例に関する条例制定の専決処分の報告承認（承）
 - 2、日野市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の報告承認（承）
 - 3、日野市西平山一丁目19番地先市道上の市の義務に属する事故に係る和解の締結及び損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告承認（承）
 - 4、日野市大字石田320番地先市道上の市の義務に属する事故に係る和解の締結及び損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告承認（承）
 - 5、日野市特別会計条例の一部を改正する条例の制定（可）
 - 6、日野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（可）
 - 7、日野市一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例（可）
 - 8、日野市立地区センター条例の一部を改正する条例の制定（可）
 - 9、日野市高齢者福祉条例の一部を改正する条例（可）
 - 10、日野市老人入院見舞共済条例の制定（可）
 - 11、日野市体育施設条例の一部を改正する条例（可）
 - 12、昭和63年度日野市一般会計補正予算（第4号）（可）
 - 13、昭和63年度日野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（可）
 - 14、昭和63年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）（可）
 - 15、昭和63年度日野市下水道事業特別会計補正予算（第4号）（可）
 - 16、昭和63年度日野市立総合病院事業会計補正予算（第3号）（可）
 - 17、昭和63年度日野市受託水道事業特別会計補正予算（第3号）（可）
 - 18、昭和63年度日野市農業共済事業特別会計補正予算（第2号）（可）
 - 19、昭和63年度日野市老人保健特別会計補正予算（第2号）（可）
 - 20、平成元年度日野市一般会計予算（可）
 - 21、平成元年度日野市国民健康保険特別会計予算（可）
 - 22、平成元年度日野市土地区画整理事業特別会計予算（可）
 - 23、平成元年度日野市下水道事業特別会計予算（可）
 - 24、平成元年度日野市立総合病院事業会計予算（可）
 - 25、平成元年度日野市受託水道事業特別会計予算（可）
 - 26、平成元年度日野市老人保健特別会計予算（可）
 - 27、平成元年度日野市老人入院共済事業特別会計予算（可）
 - 28、日野都市計画事業豊田南土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結（可）
 - 29、日野市固定資産評価審査委員会委員の選任（同）
 - 30、人権擁護委員の推薦（同）
 - 31、日野市市税条例の一部を改正する条例（可）
 - 32、日野市の休日を定める条例の制定（可）
 - 33、日野市職員の勤務時間、休日休暇等に関する条例の一部を改正する条例（可）
 - 34、日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（可）
 - 35、日野市職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例（可）
 - 36、日野市市民会館条例の一部を改正する条例（可）
 - 37、昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の制定（可）

議員提出議案（可決された意見書は、関係機関に送付されました）

- 1、東京都住宅供給公社住宅の定期的家賃値上げに反対する意見書（可）
- 2、消費税の導入に関する意見書（可）
- 3、リクルート疑惑解明に関する意見書（可）

特別委員会中間報告（要旨）
◎交通対策特別委員会

当委員会は、この1年間、鋭意、調査、検討を進めてきました。そのうち、次の3項目について、中間報告を申し上げます。

- 1、バス問題——過日、京王帝都本線にかけ、路線の拡充を要請し、会社側の回答として、①豊田・高幡②豊田・みなみヶ丘の2路線案が示され、今、市側で検討を進めているところです。
- 2、西豊田駅新設——この2月、11区選出の国会議員5名を議員会館へ訪ね、一刻も早く新駅が実現するよう協力を要請しました。
- 3、市内の交通危険箇所への信号機設置——この1年で、例年より多い、5箇所を設置されました。さらに十分な目配りをしていきたいと思っております。

編集後記

今年の春は、比較的早足で巡って来たせいか、今定例会が閉会したときは、既に桜の花が咲き競い、加えて穏やかな天候に恵まれたことも幸いして、向う4年間の市行政を占う市長選挙の告示寸前まで、私達の目を楽しませてくれました。この桜も、今ではすっかり若葉をなびかせ、遠い来季の開花へと一生懸命息吹を漂わせているような気がします。

この春には、卒業して入学、就職、転勤などで、新しい環境のもとで、それぞれの希望に向かって歩みはじめた方も多かったことと思いますが、私達も常に初心を忘れることなく、物事に徹して行きたいと思っております。

新しく構成された編集委員も満一年が経過いたしました。これからも親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆さんのご感想をお待ちしております。